Windows 7 と Windows 10 のセキュリティ機能の比較

Windows 10 には最新の脅威からの保護機能が備わっています

Windows 7 は、マイクロソフト史上最もユビキタスなオペレーティング システムとして大きな成功を収めてきました。この 5 年間、存分に役割を果たしてきましたが、今だれもが直面しているセキュリティの新しい脅威に対応するには必要なレベルの保護機能が備わっていないのが現実です。サード パーティ製品で保護を強化することはできますが、ニュースで取り上げられた組織はすべてその強化に取り組んでいたにもかかわらず、結果として十分ではなかったということを忘れないでください。

このような最新の課題を克服するには、新しいプラットフォームが必要です。Windows 10 がどのように新しいプラットフォームを実現しているか、その方法をいくつかご紹介します。

	Windows 7	Windows 10
ID 保護	現在の多要素認証ソリューションは、多くの場合、煩雑で展開にコストがかかります。	**Microsoft Passport** は、多要素認証やパスワードに代わる方法で使いやすく展開も容易です。
	ユーザーのパスワードに対するフィッシング攻撃の成功率が高まっています。	**Windows Hello** は、生体認証を利用し、デバイス、Microsoft Passport、アプリ、データ、オンライン リソースに、より安全にアクセスする方法を提供します *。
	Pass the Hash 攻撃を行うと、ID を盗み、ネットワーク全体をスキャンし、検出を回避できます。	**Microsoft Azure Active Directory** は、ID とアクセスを管理する包括的なクラウド ソリューションを提供します。
データ保護	オプションの BitLocker を使うと、ディスク暗号化を構成できます。	**BitLocker** は、機能が大きく向上して管理しやすくなっており、ほとんどの新しいデバイスで自動的にプロビジョニングすることができます。
	データ損失防止 (DLP) には、ソフトウェアを追加し、サード パーティの機能を頻繁に利用する必要があります。	**エンタープライズ データ保護**は、データの分離とコンテナー化のソリューションが深く統合されており、DLP のニーズに対応し、ファイル レベルで暗号化を行うことができます。
	DLP ソリューションは、セキュリティのためにユーザー エクスペリエンスが犠牲になることが多いため導入率が低く、デスクトップとモバイル デバイスでは使い勝手が異なります。	**エンタープライズ データ保護**は、Azure Active Directory と Rights Management サービスに統合されており、モバイル デバイスとデスクトップを問わずシームレスなユーザー エクスペリエンスを実現します。
脅威への耐性	すべてのアプリは、脅威であると判断されるか、明示的にブロックされるまで信頼されます。	**Device Guard** は、モバイル プラットフォームに対するロックダウン (フル アプリ ロックダウン) に似た保護をデスクトップに提供します。
	1 日に 300,000 件を超える新しい脅威が生まれるなか、検出を通じたブロック (既知の問題のブロック) では無駄な抵抗でしかありません。	**Device Guard** を使うと、信頼できることがアプリケーション自体によって証明されない限り、アプリケーションを実行できるようになりません。
	Windows は一連の保護ソリューションを提供していますが、マルウェアによる脅威が非常に多いため、検出ベースのウイルス対策ソリューションではユーザーの保護が間に合いません。	**Device Guard** は、マイクロソフトが今まで提供してきた、デスクトップのマルウェア対策機能のなかで最も強制的なものになります。
デバイスのセキュリティ	プラットフォームのセキュリティはそのプラットフォーム自体でソフトウェアが実行できる操作に完全に依存しており、一度ウイルスに感染すると、システムの保護機能が実行されて改ざんがない状態であるという保証がなくなります。	**ハードウェア ベースのセキュリティ**とそれによって提供される信頼レベルは、ハードウェアとシステムの整合性を維持および検証するのに役立ちます。
	マルウェアはハードウェア内やオペレーティング システム自体に潜伏できるため、一度侵入されると、整合性を検証する方法がなくなります。	**UEFI セキュア ブート**は、マルウェアがハードウェア内や OS の起動前に埋め込まれるのを防止します。トラスト ブートは、OS の残りの部分の整合性を維持するのに役立ちます。

*Windows Hello には、指紋リーダー、照明付き IR センサー、その他の生体認証センサーなど、専用のハードウェアが必要です。

Microsoft